

老舗企業を育んできた中央区



中央区は、昭和22年に京橋区と日本橋区が統合してできた区である。
区内は、京橋地域、日本橋地域、月島地域の大きく3つに区分され、
それぞれに地域的な特徴がみられる。

<日本橋馬喰町・横山町エリア>

日本橋馬喰町・横山町エリアは、繊維・雑貨を中心とする問屋がひしめく全国有数の問屋街。国内外の多くの仕入客でにぎわっている。

<日本橋エリア>

五街道の起点である「日本橋」があるこのエリアは、江戸時代から魚市場（関東大震災まで）や呉服物などを商う江戸屈指の大店も並び、商業の中心としてにぎわいをみせた。現在も百貨店や老舗が数多く集積し、発展を遂げている。

<日本橋人形町・浜町エリア>

日本橋人形町・浜町エリアは、明治座へ抜ける甘酒横町や人形町通り周辺を中心に、数多くの商店、飲食店が軒を連ね、観光客でにぎわっている。最近では高層ビルが建設され、オフィスや住居として活用されている。

<東京駅前エリア>

東京駅前エリアは、八重洲通りと中央通りを中心に商店や飲食店等のほか、東京駅前に相応しいオフィスビルが軒を連ねてきた。最近では、ビルの更新時期に差し掛かっていることもあり、建て替え工事が進んでいる。

<新川・入船エリア>

新川エリアは、水上交通が盛んであった江戸時代には、上方からの酒を扱う問屋や酒蔵、油を扱う問屋などが多くあり、今でもそのおかげを残している。入船エリアは、印刷・製本関係の会社や商店が多い地域であるとともに、現在はマンションなども立ち並び、住・商・工が混在した地域に変貌している。

<銀座エリア>

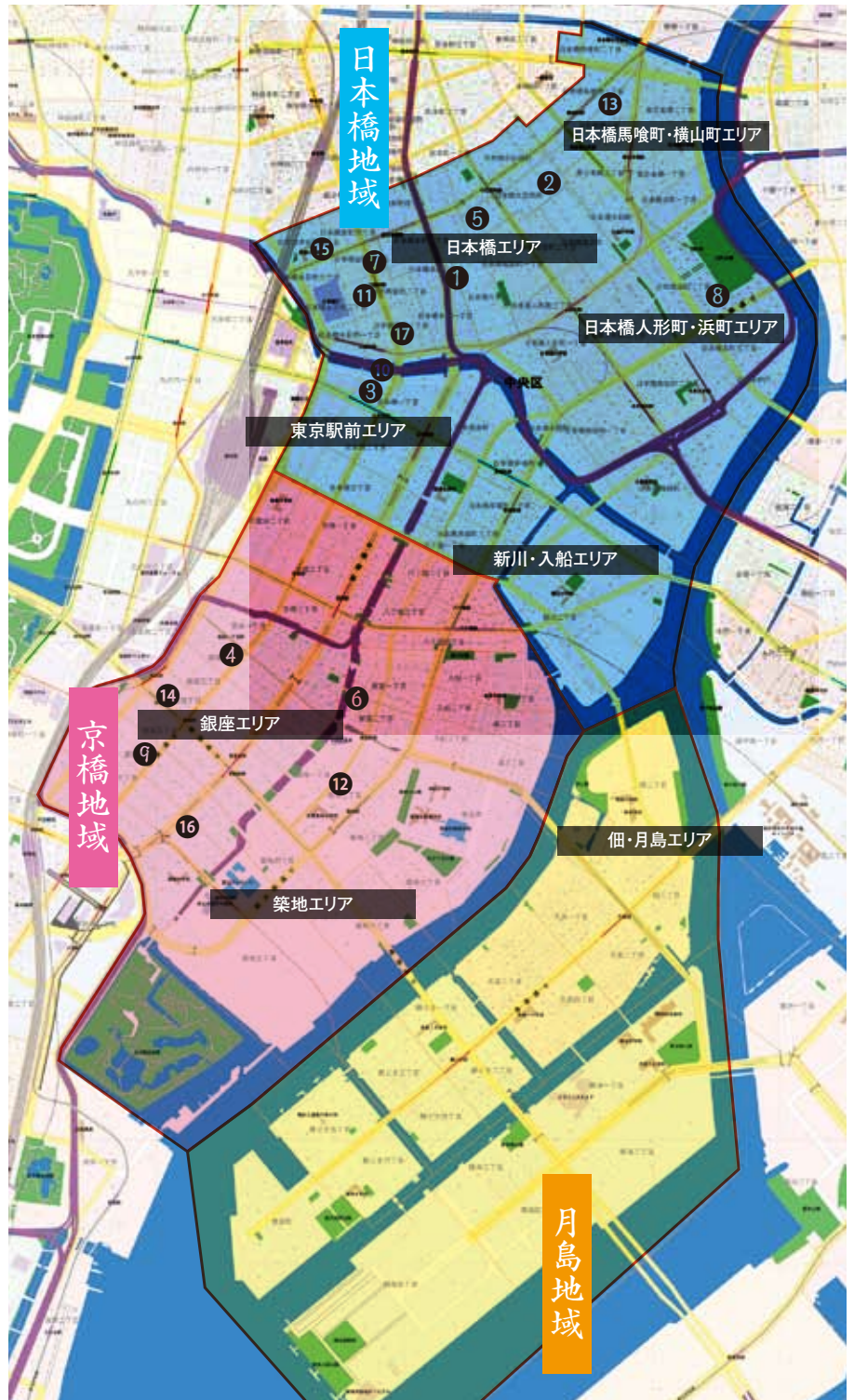
銀座エリアは、中央通りと晴海通りを中心に、日本を代表する繁華街として発展し、商業の中心的な役割を担っている。百貨店をはじめ、高級ブティックや宝飾店、ファストファッションの店舗などのほか、飲食店が軒を連ね、さながら百花繚乱の街並みである。

<築地エリア>

築地エリアは、築地本願寺をはじめ、東京の台所である築地市場があり、仕入客や観光客でにぎわっている。また、場外市場は、魚関係の商店や飲食店が軒を連ねているほか、オフィスが林立している。

<佃・月島エリア>

佃・月島エリアは、倉庫や工場からオフィスビルや高層マンションに衣替えしているケースが増えている。高層マンションの林立により住民が急激に増加し、新住民と旧住民が混在するまちである。佃には古くからの佃煮屋が残っているほか、月島にはもんじゃ焼き店が集積しており、にぎわいをみせている。



<中央区老舗企業塾にご協力いただいた企業一覧> (順不同)

- ① ㈱伊場仙 ② ㈾魚十 ③ ㈱榮太樓總本舗 ④ ㈱越後屋 ⑤ ㈱江戸屋
- ⑥ ㈾大野屋總本店 ⑦ ㈱眼鏡舗村田長兵衛商店 ⑧ 経新堂稲崎表具店
- ⑨ ㈱銀座ヨシノヤ ⑩ 国分㈱ ⑪ ㈱千疋屋総本店 ⑫ ㈱玉寿司 ⑬ 丹波屋㈱
- ⑭ ㈱松崎商店 ⑮ ㈱マツモト交商 ⑯ ㈱安田松慶堂 ⑰ ㈱山本海苔店